

パラグアイ海外邦人安全対策情報

(平成30年1月～3月)

1 安全に関する情報

外務省海外安全ホームページで、パラグアイ国内の以下の地域に危険情報が発出されていますので、ご注意ください。

●コンセプション県ウブ・ジャウ市と隣接するアマンバイ県内の県境付近、コンセプション県の一部、サン・ペドロ県の一部、アマンバイ県カピタン・バド市、アルト・パラナ県プレシデンテ・フランコ市

:「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」(継続)

●アスンシオン市及び周辺、アマンバイ県ベジャ・ビスタ・ノルテ市、ペドロ・ファン・カバジェロ市、カニンデジュ県サルト・デル・グアイラ市、アルト・パラナ県シウダ・デル・エステ市、イタプア県エンカルナシオン市

:「レベル1:十分注意してください。」(継続)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1)全般

パラグアイ国内では、オートバイを利用した拳銃使用の強盗事件、市街地での置き引き、車上荒らし等が発生しています。カメラや目立つ貴金属等を露出しない、不用意に貴重品を持ち歩かない、屋外で不急の携帯電話の使用は控える、カバンは身体から離さない等、強盗・盗難の被害に遭わないように心掛けてください。また、銀行や金融機関に出入りする客を狙った強盗も多く発生しています。周囲の状況を常に確認するようにし、警戒の意識を保ちながら行動するようにしてください。

(2)主な事件概要

- ・ 1月4日深夜、アスンシオン市サン・フェリペ地区の路上で、若い男性グループが飲酒している現場で発砲事件が発生し、32歳の男性が銃弾を被弾し死亡した。関係者の証言で、発砲を行った男は被害者の友人で刑務所から出所したばかりとの事である。
- ・ 1月9日、アスンシオン市内の路上で21歳の男が、路上強盗と暴行容疑で逮捕された。男は仲間達と通行人を脅し、所持品を直ぐに渡さない通行人に対して集団暴行を行った。尚、男とその仲間達は、ゲーム感覚で通行人を襲っていたとの事である。
- ・ 1月14日の午前1時ころ、セントラル県ニエンブ市の住宅に2人の男が侵入し、庭に駐車してあった車を盗もうとしたところ、所有者がそれに気付कि犯人に抵抗を試みたが殺害された。犯人はその後現場から逃走した。
- ・ 1月18日の深夜、アスンシオン市トリニダ地区の路上で帰宅途中の男女がオートバイで接近してきた2人組の男に携帯電話を渡すよう要求されたが、男性が抵抗したため、犯人に刺され重傷を負った。犯人はそのまま逃走したとの事。

- ・ 2月3日の午後10時45分頃、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市で、住宅前で酒を飲んでいた男性2名が、オートバイで接近して来た武装犯数名に射殺される事件が発生した。
- ・ 2月16日、セントラル県サン・ロレンソ市サン・ホセ地区の路上で、母親と娘が帰宅途中でオートバイで接近してきた2人組の男にカッターで脅迫され所持品を盗まれる事件が発生した。
- ・ 3月1日の午前5時45分、アルト・パラナ県エステ市サン・ホセ地区の路上で、通行人がオートバイで接近してきた2人組に拳銃で脅迫されているところを巡回中の警察官が発見し、銃撃戦となった。この銃撃戦で犯人の一人が取り押さえられ、もう一人は逃走したがその後逮捕された。
- ・ 3月10日、セントラル県カピアタ市で、プロサッカーチーム「OLIMPIA」と「CERRO PORTENO」の熱狂的サポーター同士による発砲事件が発生、現場にいた男性一人が銃弾を被弾し負傷したとの事。また、現場に出動した警察パトカーもフロントガラスに銃弾を被弾した。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

- ・ 1月11日、サン・ペドロ県タクアティ市内に所在する「San Eduardo」牧場内で、ハンモックに包まれた男性の遺体が発見された。遺体は白骨化している事から確認は難しいが、現場から発見された衣類が2015年8月8日に誘拐された、メノー派移住者のアブラアン・フェル(38歳)氏が着用していたものと似ている事から、遺体がアブラアン氏のものとみて、現在確認中である。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

特に無し。